

型番	SK-1200R		
お客様	ご住所	〒□□□ □□□□ TEL.	
	お名前	様	
保証期間	本体	お買い上げ日から 1年	お買い上げ日 年 月 日
	販売店	住所・店名 TEL.	印

販売店様へ：太ワクの中は必ず記入してお渡しください。

保証規定

- ①保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- ②修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書をご提示の上でご依頼ください。
- ③ご贈答、ご転居の際は、事前にお買い上げの販売店、電気店へご相談ください。
- ④次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
- イ)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
- ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
- ハ)火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他天災地変、公害及び異常電圧などによる故障及び損傷
- ニ)車輛、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- ホ)一般家庭用以外(例えば業務用)に使用された場合の故障及び損傷

- ヘ)腐食による故障及び損傷
- ト)プラスチックの表面(フッ素樹脂加工も含む)及びメッキの摩耗や打痕による損傷
- チ)本書のご提示がない場合
- リ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- ⑤本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This guarantee is valid only with in Japan.
- ⑥本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ⑦出張修理は行っておりません。

年 月 日	サービス内容	点 検 印
・ ・		
・ ・		
・ ・		

株式会社 石崎電機製作所

お客様ご相談センター	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間：月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

シュアークッキングヒーター
SK-1200R

取扱説明書

このたびはシュアークッキングヒーター SK-1200Rをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書(保証書付)を最後までお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあと、いつでも必要な時に取り出せるように所定の場所に必ず保管してください。

01~05 安全上のご注意

05 各部の名前

06~07 ご使用方法

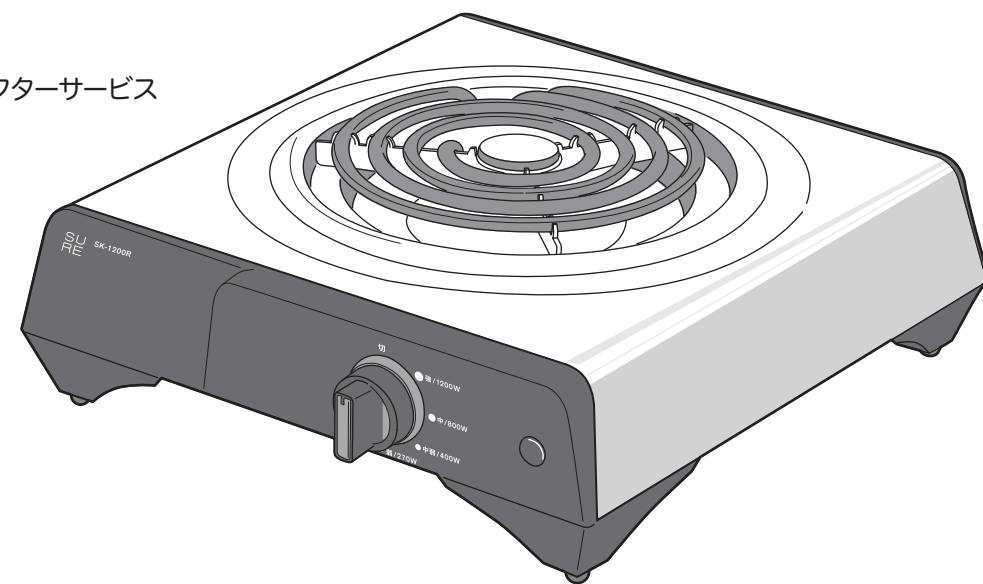
08 お手入れと保管

09 故障かな?と思ったら

09 仕様

10 保証とアフターサービス

裏表紙 保証書



△注 意

やけどに注意

渦巻きに見えるヒーター部分は大変高温になります。手をかざして熱を感じたら触らないでください。

調理以外に使用しない。

一般のご家庭でご使用いただく電熱器具です。調理以外にはご使用しないでください。

業務用には使用しない。

業務用には使用しないでください。早期故障の原因になります。また、保証の対象外にもなります。

家庭用

100V

1200W

SURE

安全上のご注意 (その1)

ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危害や損害の

大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。

⚠ 注意

この表示を無視して間違った取り扱いをすると、使用者や近づいた方が障害を負う可能性が想定されること、また物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

※物的損害とは、機械、建物、家屋、家財及び家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

具体的な絵表示には次の意味がありますので、十分に理解してお読みください。



分解禁止

ⓧは、禁止(してはいけないこと)を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「分解禁止」を表します。



プラグを抜く

●は、強制(必ずすること)を示します。

具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示しています。上図の場合は「差込プラグをコンセントから抜くこと」を表します。

⚠ 警告 やけど・けがを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止し、差込プラグを抜く。

・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

・コゲくさい臭いがする。

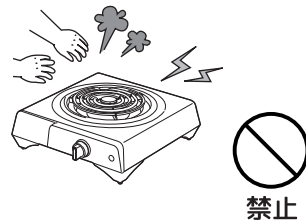
・電源コードや差込プラグが異常に熱い。

などの症状が出たら、すぐに販売店または

お客様ご相談センターへ点検・修理を依頼してください。

子供だけで使わせたり、取り扱いに不慣れな方の使用や、幼児の手の届くところで使わない。

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

お客様ご相談センター

048-931-3110



必ず行う



プラグを抜く

⚠ 警告 取り扱い・使い方

修理技術者以外の人、絶対に分解・修理は行わない。また改造はしない。

感電・発火や異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

炭の火おこしは危険なので行わない。火災・やけどの原因になります。



禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

箱で本体を覆うような調理は行わない。燻製をする場合は、本体を覆わず、燻製専用銅を使用してください。熱がこもり故障の原因になります。



禁止

業務作業は行わない。

一般家庭用の熱器具です。本器の早期故障や重大事故につながります。



禁止

濡れた手で差込プラグを抜き差ししない。感電の原因になります。



濡れ手禁止

電源は交流100Vで定格15Aのコンセントを単独で使う。

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発火の原因になります。



必ず行う

差込プラグのほこりなどは定期的に拭き取る。プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込プラグをもって引き抜く。

感電・ショート・故障の原因になります。



必ず行う

使用時以外は、差込プラグを必ずコンセントから抜く。けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

差込プラグにピンやごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードに足などを引っかけない。けがや故障または感電事故の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたまま使用しない。また、重たいものを載せたり挟み込んだりしない。

電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

差込プラグをなめさせない。乳児が誤ってなめないように注意する。感電・けがの原因になります。



禁止

⚠ 注 意 取り扱い

調理物が異常に発煙したり発火した場合は、すぐに熱量調節ダイヤルを「切」にして差込プラグを抜く。
火災の原因になります。



ヒーターが固定されていない状態で、運んだり移動しない。
受け皿がはずれて落下し、けがをしたり、破損の原因になります。



受け皿を外した状態で使用しない。
故障や破損、ショート・発火の原因になります。



焼き網を置き、肉・魚等を焼かない。
油・タレがヒーターに垂れて断線・腐食の原因になります。



ヒーターの上で直接食材を焼かない。
食材が焼けて火災の原因になります。



底が平らな鍋以外は使用しない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



鍋などをヒーターの中央以外の端などに載せない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



使用後は必ずお手入れをする。
調理くずやふきこぼれが残ったまま再度調理をすると、発煙・発火の原因になります。



落下などにより本体が破損した場合は、差込プラグを抜いて修理の依頼を行う。
感電・ショート・故障の原因になります。



ヒーターの上に物を置かない。
火災の原因になります。



本体に鍋などを乗せたまま持ち運ばない。
鍋などがずれ落ちて、やけどやショートの原因になります。



天ぷら調理中は、絶対に本体から離れない。
油が発火し火災の恐れがあります。



ヒーターの上でアルミホイル焼きや、缶詰・瓶詰め等を直接加熱しない。
破裂したり赤熱してやけどやけがの原因になります。



鍋底が16cmより小さい又は24cmより大きい鍋は使用しない。
火災・やけど・テーブルの焼損等の原因になります。



鍋などの空炊きは絶対にしない。
火災の原因になるうえ、鍋や本体をいためます。



圧力鍋での調理は行わない。
本体の故障・変形の原因になります。



お手入れの時は、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
やけど・感電の原因になります。



3～5年に一度は定期点検を行う。
本体内部にほこりなどがたまったまま長時間使用すると、火災や故障の原因になります。
(有償点検となります)



⚠ 注 意 使用場所

壁や家具の近くでは使わない。
熱で壁や家具を痛め、変色・変形の原因になります。また、本体の故障・変形や火災の原因になります。



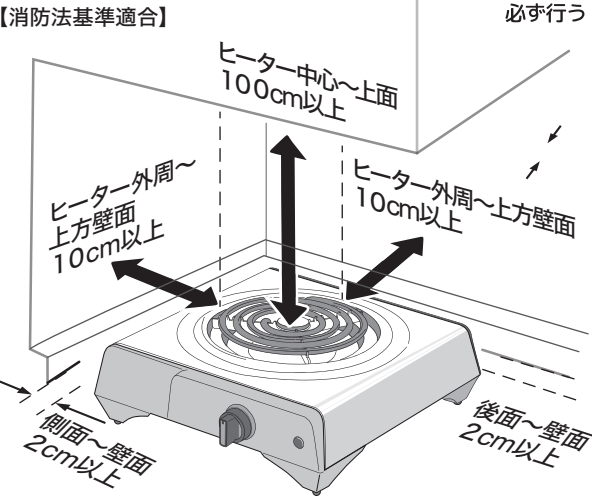
ビニールクロスなど熱に弱い敷物の上やじゅうたん、新聞紙、ダンボールなどや畳の上では使用しない。
火災の原因になります。



密閉された空間で使用しない。本体前面及び、側面を含む2面以上を開放して使う。
発火・火災・本体故障の原因になります。



本体を可燃物から下図のように周囲より離し、固い平らなところに設置する。



※本体後面には電源コードがあります。実際の設置では、電源コードが屈曲しないよう、余裕を持たせて設置してください。

不安定な場所の上では使用しない。
本体の落下などによるけがや調理物の落下によるやけどの原因になります。



カーテンなどの可燃物の近くで使わない。
火災の原因になります。



火気(コンロ・ストーブなど)の近くや、ほこり・金属片の多いところ、水のかかるところでは使用しない。
故障や破損、ショート・発火及び感電・漏電の原因になります。



⚠ 注 意 やけど・けがを防ぐために

使用中や使用後しばらくは、本体やヒーターなどの高温部に触れない。
やけどの原因になります。



使用中に本体を持ち運ばない。
やけど、けがの原因になります。



安全上のご注意 (その3)

△ 注意 発火・火災を防ぐために

使用中は本体から離れない。
調理物が、発火する恐れがあります。



必要以上に加熱しない。
加熱しすぎると調理物が発火する恐れがあります。



通電したまま放置しない。
けがややけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



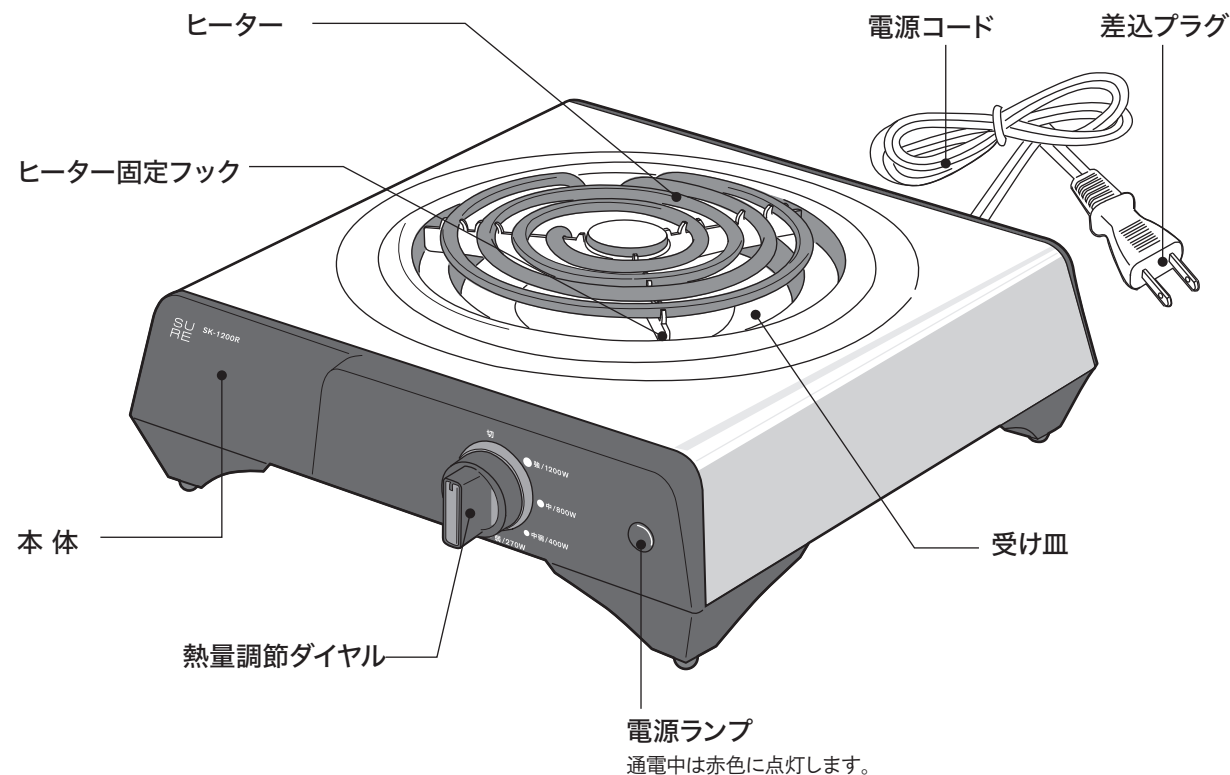
本体の近くで可燃性ガスなどが発生する物
を使用しない。
火災の原因になります。



引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)
の近くで使用しない。
ショート・発火する恐れがあります。



各部の名前



ご使用方法 (その1)

ご使用の前に

- 初めてご使用するとき、ヒーターから煙が出ることがありますが、製造段階でのさび止め処理によるものです。ご使用により出なくなります。
- ヒーター固定フックがロックされていても多少のガタつきは残りますが、異常ではありません。

△ 注意

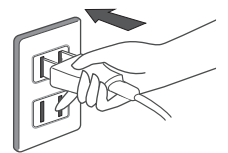
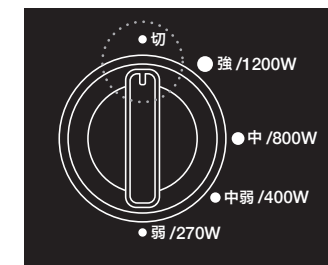
ご使用期間が空いたときは、ヒーターの上に
ホコリなどがついていている場合がありますので
取り除いてください。



必ず行う

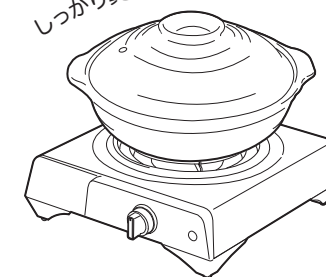
1 差込プラグをコンセントに差し込みます。

熱量調節ダイヤルが「切」になっていることを確認します。
本体を安定した台の上に置き、差込プラグを正しく配線された交流100Vのコンセントに根元までしっかりと差し込みます。



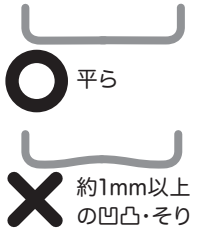
2 調理する鍋などをヒーターの上に載せます。

しっかり真ん中に鍋のをせる

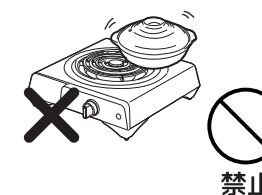


△ 注意

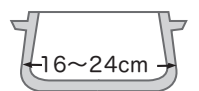
お使いになる鍋などは、
底が平らなものをお選びください。
底に丸みがあるものや凹凸のあるものは熱効率が悪いうえ、不安定で危険です。



鍋などをヒーターの中央
以外の端などに載せない。
鍋などがずれ落ちて、やけどや
ショートの原因になります。



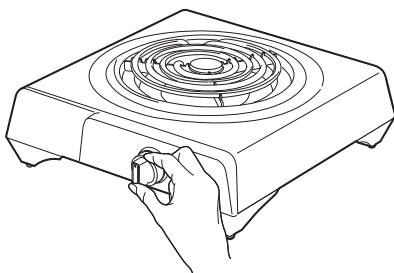
鍋底の直径が16cm以上24cm以下
のものをご使用ください。



燻製調理を行う場合は必ず専用鍋をご使用ください。

3 熱量調節ダイヤルを合わせ調理します。

熱量調節ダイヤルのつまみ位置の目安



調理例	最初の目安	沸騰後の目安
カレー	強火/1200W	弱/270W
煮豆		弱/270W～中弱/400W
湯どうふ		
おでん		弱/270W～中/800W

※調理する鍋や容量などによって、沸騰後の目安は異なってきますので、煮立ち具合を見ながら調節してください。

△ 注意
熱量調節ダイヤルが「強/1200W・中/800W・中弱/400W・弱/270W」のいずれかの時は、熱量調節ダイヤルの動作音がしますが、正常に動作しているためで故障ではありません。

使用中は本体から離れないでください。特に天ぷら調理中はその場を絶対に離れないでください。油が発火し火災の恐れがあります。

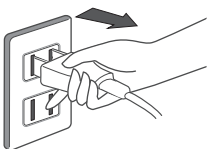
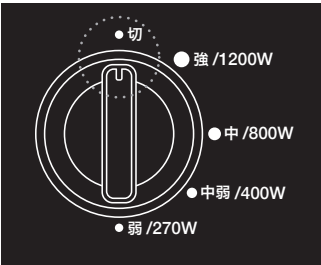


ヒーターは明るい部屋などでは「赤熱」して見えませんが、手をかざして熱を感じたら発熱していますのでやけどなどにご注意ください。



4 ご使用後

熱量調節ダイヤルを「切」にします。コンセントから差込プラグを抜きます。

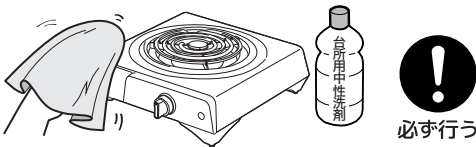


●お手入れの時は、差込プラグをコンセントから必ず抜いて行う。
やけど・感電の原因になります。



本体のお手入れ

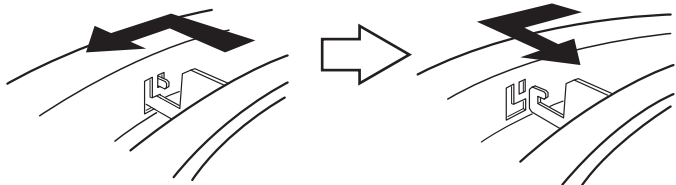
台所用中性洗剤を浸したやわらかい布を、かたくしぼって拭き、さらに乾いたやわらかい布で洗剤がのこらないようにきれいに拭き取ってください。



受け皿のお手入れ

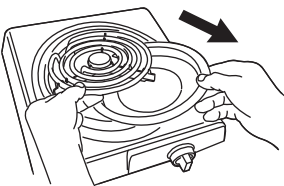
1 ヒーター固定フックを外す

ヒーター固定フックを矢印方向に押し動かします。 L型の切り込みより取り外します。



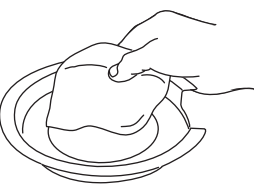
△ 注意
ヒーターを持ち上げる際は、ヒーターが完全に冷えていることを確認してから行ってください。

2 ヒーターを持ち上げて、受け皿を外す



3 受け皿を清掃する

台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジを使って洗います。洗剤が残らないように十分なすすぎ洗いをした後、乾いた布で水分を拭き取ります。

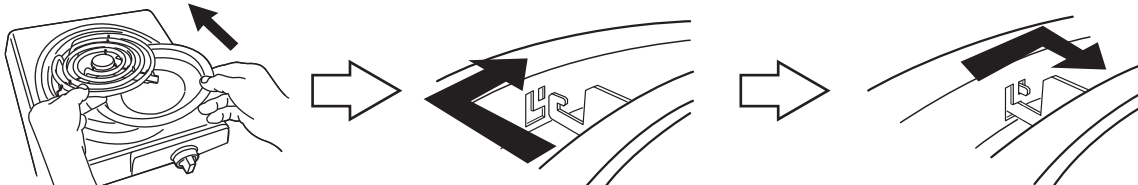


4 受け皿を取り付ける

取り付けは 1 ～ 2 を逆の順序で行います。必ず行う



ヒーターを持ち上げて、受け皿をはめます。 ヒーターの固定フックをL型の切り込みにはめ込み、矢印方向に動かします。 確実にロックされたか確認します。



故障かな?と思ったら

次のようなときは、故障ではない場合がありますので、表を見ながらもう一度お調べください。

調べる ところ	症 状	通電しない	沸騰や調理に 時間がかかる	調理中、煙が 出たりする	調理中に 「カチカチ」と音がする	処 置
差込プラグ		●				差込プラグはコンセントにきちんと差し込まれていますか。 【処 置】 差込プラグをコンセントに確実に差し込み直してください。
本 体		●				熱量調節ダイヤルが「切」になっていませんか。 【処 置】 熱量調節ダイヤルを回して「強・中・中弱・弱」のいずれかにしてください。
			●			熱量調節ダイヤルが適切な位置になっていますか。 【処 置】 熱量調節ダイヤルを調理し始めは「強/1200W」、沸騰後は調理に合わせて、中又は弱にしてください。
				●		通電してしばらくの間、前回の調理でヒーターについた脂などが加熱されて、煙が出ることがあります。 【処 置】 お手入れを十分に行なってください。
				●		使い始めたばかりではありませんか。 初めてのご使用の際は煙が出たりにおいがすることがあります。 【処 置】 故障ではありません。そのままお使いください。
					●	ヒーターの熱膨張や熱量調節ダイヤルの動作によるものです。 【処 置】 故障ではありません。そのままお使いください。
受け皿				●		脂などのよごれがついているとヒーターの熱により煙が出たりします。 【処 置】 お手入れを十分に行なってください。

※以上の事をお調べいただき、それでも直らない場合は、ご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
詳しくは、P.10「保証とアフターサービス」をご参照ください。

仕 様

定 格	100V 50/60Hz	ヒーター	シーズ式ヒーター（内・外2本）
消 費 電 力	1200W	熱量調節ダイヤル	火力4段切り換え 切・強/1200W・中/800W 中弱/400W・弱/270W
本 体 寸 法	幅300×奥行325×高さ100mm		
質 量	約2.1kg(電源コード含む)		
電源コード	ゴムコード約1.8m		

保証とアフターサービス

■修理・お取扱い・お手入れなどのご相談
お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお申し付けください。

■修理を依頼されるとき
使用中に異常が生じた場合は、必ず差込プラグをコンセントより抜いて
お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

- 保証書(裏表紙)
必ず「お買い上げ日、販売店」の記入をご確認の上、
お買い上げ販売店から受け取り、内容をよくお読み
の上、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料
で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低
保有期間は、製造打ち切り後5年です。
注)性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げ販売店、または
お客様ご相談センターに修理を依頼してください。
製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間:お買上げ日から1年間
詳しくは裏表紙の保証規定をご確認ください。

お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー	〒340-0807 埼玉県八潮市新町9
TEL: 048-931-3110	受付時間:月～金の9時～12時/13時～17時 ※祝日・年末年始・夏季などの休業中を除く

長年ご愛用のクッキングヒーターの点検を！



●差込プラグやコードが異常に熱い。
●コゲくさい臭いがする。
●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●本体に触れるとビリビリと電気をを感じる。
●その他の異常、故障がある。

このような症状はありませんか

このようなときは、ご使用を中止してください。事故防止のため、必ず販売店に点検修理をご相談ください。

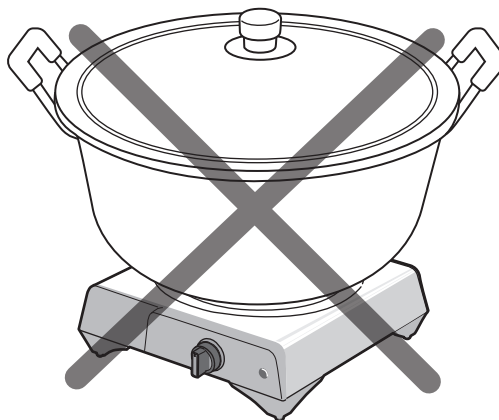
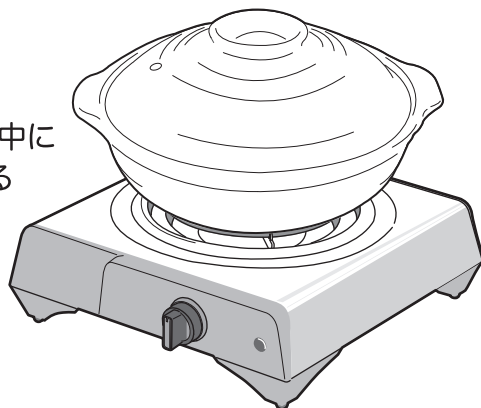
株式会社 石崎電機製作所

本社 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15	東日本営業所 〒111-0051 東京都台東区蔵前3-5-15 TEL.03-5687-7031	西日本営業所 〒550-0013 大阪市西区新町1-25-7 TEL.06-6541-3893	公式ホームページ  www.sure.ishizaki.co.jp
-----------------------------------	---	--	---

クッキングヒーター SK-1200R をお使いいただく前に必ずお読みください。

正しいご使用方法

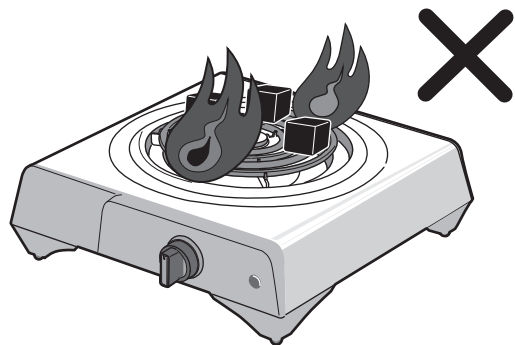
しっかり真ん中に
鍋をのせる



鍋底の径が
16cm以上～24cm以下
のものを使用してください。
対荷重は 5kg までです。

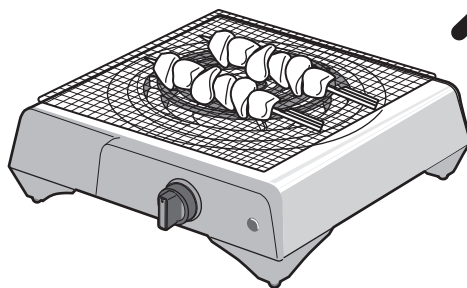
⚠ 警告

炭の火おこしは、危険なので
行わないでください。
火災・やけどの原因になります。 禁止



⚠ 注意

肉、魚等を焼き網で焼かないで
ください。
油やタレがヒーターに垂れて断線や
腐食の原因になります。 禁止



⚠ 注意

箱で本体を覆うような
使い方はしないでください。
燻製調理をする場合は、
必ず燻製専用鍋を使用
してください。
熱がこもり、故障の原因に
なります。



禁止

